**講座（0529）の参考資料**

**テーマ：　「（習慣）クセ（Habit）」が「自然・本性（Nature）」の十倍だ！　とは何事か？**

 **（ウイリアム・ジェイムズの「習慣（クセ）」の章から）**

**our ungraceful and distorted attitudes when sitting, made on him a very painful impression**.

**グレース（恵み・優雅さ）を失い歪んだ姿勢は、とても痛々しい。**

**I felt that my countrymen were depriving themselves of an essential grace of character**.

　**私は、わが国の人（地球人）は、人間の人格で最も大切な「グレース（恵み）」を自分で捨て去っているのではないか、と感じた。**

◎William James “Psychology: Briefer Course”から。

**"One must first learn, unmoved, looking neither to the right nor left, to walk firmly on the straight and narrow path, before one can begin 'to make one's self over again.**

**①　右を見たり左を見たりしてうろちょろしているのでなく、しっかり前を見て、固く大地を踏みしめ歩いていこう。自分自身をしっかり作り上げていこうとするなら（繰り返し繰り返し）。**

**' He who every day makes a fresh resolve is like one who, arriving at the edge of the ditch he is to leap, forever stops and returns for a fresh run.**

**②　跳び越えるべき溝の端っこに来ては、また引き返して、「フレッシュな決意をするぞ！」とか言ってる人は、永遠に止まっては引き返しを繰り返すだけだ。**

**Without unbroken advance there is no such thing as accumulation of the ethical forces possible, and to make this possible, and to exercise us and habituate us in it, is the sovereign blessing of regular work."**

**③「全身していくぞ」と進んでいくことなしには、倫理的な力（人間としてしっかり生きる力）も駄目なままだ。これを可能にし、エクササイズし、習慣化していくことは、それ自体が、不断の仕事の崇高な恵みだ。**

A third maxim may be added to the preceding pair: Seize the very first possible opportunity to act on every resolution you make, and on every emotional prompting you may experience in the direction of the habits you aspire to gain. It is not in the moment of their forming, but in the moment of their producing motor effects, that resolves and aspirations communicate the new 'set' to the brain.

**④　第三の格言。「この習慣は身につけたい」という方向での気持ちが起こり、そう決意をしたら、それを行動に移す機会をすぐにつかめ。決心や熱意が、自分を本当に変えるのは、心の中で思った瞬間でなく、その行動がなされた時である。**

As the author last quoted remarks:

"**The actual presence of the practical opportunity alone furnishes the fulcrum upon which the lever can rest, by means of which the moral will may multiply its strength, and raise itself aloft.**

**He who has no solid ground to press against will never get beyond the stage of empty gesture-making.**"

**⑤　バーンセンは次のように言っている：**

**実践的な機会が現にあること、これのみが、『てこ』がちゃんと作用するための支点となる。そのことで、道徳的な意志も、どんどん力に満ち、増幅し、高まっていくのだ。**

**押すと手ごたえのある固い大地を失っている人は、虚しい『ジェスチャー・メイキング』の段階にずっと留まったままだ。**

No matter how full a reservoir of maxims one may possess, and no matter how good one's sentiments may be, if one have not taken advantage of every concrete opportunity to act, one's character may remain entirely unaffected for the better. With mere good intentions, hell is proverbially paved. And this is an obvious consequence of the principles we have laid down.

**⑥　どんなに素晴らしい格言を、いくらたくさんためていても、どんなに素晴らしい善意や感情があろうとも、具体的な機会で行動しなかったら、その人の人格は、良い方向へと変わることは決してないであろう。ことわざでも言われているように、「ただの善意（善い意志）は、地獄への道の石畳だ」。私たちがこれまで見てきたことからも、このような帰結になることは明らかだ。**

◎バーンセン著『Beiträge zu Charakterologie』J. Bahnsen (1867)

⑦　本当に身につくためには、自分で**経験し、見る必要がある。教え（Belehrung）は、形、真実の殻（外の蓋い）、すなわちそれを自分で取得する機会を与えることしかできません**

 　**外から「飼いならす」のでは、単なる「洗練」や「磨き」ほどの改善にもなりません**。手かせ、拘束衣、「行儀の悪い」男の子用の棒。**名誉に関する変更された概念も、**「良い評判」、一般的な名誉、特殊で専門的な名誉、これらも同様。

**⑧　遵守することが不可能な法律の膨大な量（plurimæ leges, pessima respublica：より多くの法律、最悪の州）も、市民を偽善者にする**。

**⑨　自分が法律に違反していないことに注意を払うだけでよい人は誰でも、自分自身の中で静かな熟考（stiller Einkehr in sich selber）にたどり着くことは決してありません。これはすべての聖化にとって最初で不可欠な前提条件です**。

**⓾　積極的な他律性への絶え間ない配慮（Die stete Rücksichtnahme auf eine positive Heteronomie）は、時間とエネルギーを要するだけでなく、それをその自律性にもたらす勇気（Mut）を奪います。これなしでは自己教育は行なえないままです**。

**⑪　人格（Charakter）の本当に根本的な変容の問題に関して重要なのは**、世界や教育者が何をするかではなく、私たち自身が私たち自身と**私たちの「本性（自然）」からなすこと**、またはなさないことです。

**⑫単なる「原則」を「貯水池」にためても、「善意」でも大事なことを成し遂げるにはほど遠い。**

**Im Gegenteil: die Unmittelbarkeit des Augenblicks muß den Punkt hergeben, auf den der Hebel allein sich stützen kann, mittels dessen das sittliche Wollen seine Kräfte vervielfacht, sich selber emporhebt; wer keinen Boden unter sich hat, wider den er sich stemmen kann, der wird nie und nimmer aus dem bloßen Zappeln herauskommen.**

**⑬　逆に、瞬間の直接性は、まさに梃子がその上で支えとなるポイントを提供することができます。それによって道徳的な意志はその力を倍増させ、それ自体を高めます。**

**⑭　自分がよって立つ大地を持たない人は、ただまごまごしていること（Zappeln）から決して抜け出すことはありません。**

**⑮**そして「**地獄への道の石畳**」**‘Pflastersteine auf der Straße zur Hölle“**は道徳的なエネルギーの岩からではなく他の場所で敷かれています。

⑯「自分自身に取り組む」ことができるためには、まず、右または左に目を向けないこと、まっすぐで固定された道を歩くことを学ばねばなりません。

**⑰　毎朝新たに何かを「引き受ける」人は誰でも、堀で繰り返し試みをするために繰り返し引き返す人のようなものです**。

**⑱　着実な進歩がなければ、倫理的な力の集中は不可能です**

**－ そしてそれに慣れ続けるために、それは定期的な仕事の祝福です**。